

福江高校 「観光ビジネスコース」 概要

目標 「おもてなし」の精神を育て、観光産業を支える人材を育成する。
設定コンセプト ①地元の良さを知る ②地元の良さを伝える ③地元の良さを受け継ぐ

クラスの位置づけと授業内容

1年次 クラスは、均等の3クラスとなります。

観光ビジネスコース指定で入学した生徒は、「**ビジネスマナー**」2単位を選択し履修する。

【選択相手科目：英語会話2・生活と福祉2】

なお、入学に観光ビジネスコースを指定しなかった生徒でも、1年次にビジネスマナーを履修していれば、2年次に観光ビジネスコースに入ることが可能です。

時間割イメージ（空欄は普通科目）

月	火	水	木	金
				ビジネス マナー
		ビジネス マナー		

時間割の
科目配置
は例です

2年次 2年次以降、全校を3クラスに分け、そのクラスの中にコースを埋め込みます。

◎は愛知県による設定コースです。それ以外は、学校で設定したコースです。

クラス編成

	1組	2組	3組
実務 コース (就職)	◎ 観光ビジネス コース (進学・就職)	◎ 福祉実践 コース (進学・就職)	普通コース (専門学校 進学)
			進学コース (大学進学)

観光ビジネスコースでは、普通教科以外に、**観光学基礎3単位、おもてなし演習2単位、観光地理2単位を履修する。** 【相手実務科目：簿記3、情報処理4】

火曜日に観光の科目を集中させ、校外で調査研究および演習の時間を確保する。校外に出ないときは、該当科目の授業とする。

なお、休日に観光ビジネスコース全生徒が終日校外実習を行った場合、代休もある。

時間割イメージ（空欄は普通科目）

月	火	水	木	金
	観光学基礎		観光学基礎	
	観光学基礎			
	おもてなし 演習			
	おもてなし 演習			
	観光地理			
	観光地理			

3年次

観光ビジネスコースでは、普通教科以外に、**観光実務3単位、課題研究3単位、総合実践3単**

位、トラベル英語2単位、郷土研究2単位、情報処理2単位を履修する。

【相手実務科目：課題研究3、総合実践5、広告と販売促進2、古典A3、郷土研究2】

金曜日に観光の科目を集中させ、**長期インターンシップ(年間18回程度)**の時間を確保する。インターンシップに出ないときは、該当科目の授業とする。

時間割イメージ（空欄は普通科目）

月	火	水	木	金
		課題研究		観光実務
課題研究	情報処理			観光実務
		トラベル 英語	郷土研究	観光実務
トラベル 英語				総合実践
	郷土研究		課題研究	総合実践
		情報処理		総合実践

科目のおもな内容

1年次 **ビジネスマナー** 2単位

和の文化を理解し、ビジネスマナー（応対、言葉遣い、コミュニケーション）やビジネス文書の作成方法を学ぶ。

2年次 **観光学基礎** 3単位

旅行業や観光に関する知識、旅行の安全、バリアフリー観光等を学ぶ。

観光地理 2単位

全国の観光地の研究。市内の観光ポイントや施設を見学し、地元の良さを再発見する。フィールドワークとして「街歩きマップ」の作成、「観光ポイントのガイド原稿作成」、「地元の観光パンフレット」作成のほか、地元の食材研究等も行う。

おもてなし演習 2単位

サービス業のスタッフを講師に招き、講演や接遇についての演習を行う。地元の観光ガイドや観光に関するボランティアを行う。また、車椅子やAEDの操作も学ぶ。

「和のおもてなし」演習、「観光ポイントガイド」演習を実施する。

3年次 **観光実務** 3単位

地元企業で長期的継続的なインターンシップ年間18回程度を実施する。

トラベル英語 2単位

旅行に必要な英会話を学び、外国からの旅行者に対応できるようにする。

課題研究 3単位

ツアー企画、体験プログラムや鳥羽高校・足助高校交流プログラム作り、校外の事業所との連携した事業などを行う。

総合実践 3単位

旅行業務研究、渥美半島活性化企画等ほか、観光パンフレット作成、Webページ作成の基礎を学ぶ。また、経理および契約に関する法律の基礎を学ぶ。

郷土研究 2単位

福江高校作成のテキスト「渥美半島」を学習する。

情報処理 2単位

WORD、EXCEL、POWERPOINTの技術を習得する。

科目を超越して実施するもの

- ・地域のお祭りやイベントにボランティアとして参加。運営やガイド等を行う。
- ・地元の食材や物産を使った新しい商品の開発。
- ・福江中学と協同でラベンダーの栽培とアロマオイルの製品化・販売を行う。
- ・中学校出前授業（本校生徒が講師役となり、マナーや地元の観光等について紹介する）
- ・観光ビューロー、商工会、まちづくり推進協議会等と連携して渥美半島活性化企画。
- ・大学や専門学校との授業連携。
- ・資格取得（希望者）：おもてなし検定、国内旅行業務取扱管理者、旅行地理検定

※ 上記の内容は11月10日現在の予定です。内容は変更する可能性があります。